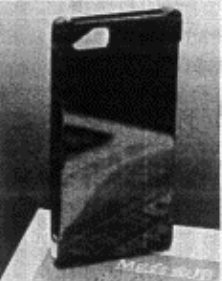


# 日本のモノづくりを支える 九州のメッキ産業

## 人材育成 環境対策

### 産学官連携で取り組み

メッキは製造業を支える基礎産業の一つ。日用品、家庭用品、電気製品などのほか、通信機器やコンピュータなどハイテク製品、自動車、建築といった幅広い産業分野で活躍している。九州では基礎産業の半導体や自動車の産業にとって欠かせない存在だ。九州めっき工業組合は産学官連携で人材育成や環境対策に取り組み、業界を進化させている。



各社は技術開発で新たな用途を提案している

メッキに求められるのは耐食性や耐摩耗性、装飾性など多彩。高純度や高精度の追求で技術革新を続け、医療や航空宇宙といった先端分野でも活躍する。産業の発展に貢献し、世界を誇る日本のモノづくり技術発展を支えてきた。九州にも有機エレクトロ・ロミックス、経済産業局、福岡県農工ネット（E-net）や水産部、福岡県工業技術センター、福岡県中小企業連合会など、産学官連携で取り組む企業も数々あり、九州めっき工業組合は、5月16日、福岡市内で2019年度の通常総会を開いた。組合関係者、議員が仲良く、切磋琢磨し、協力を呼びかけた。



メッキ作業には人の技術が欠かせない

九州めっき工業組合  
山田 登三雄 理事長



### 人材育成・事業継続支援に力

九州経済は全体的に回復を続けており、生産活動は自動車を中心に好調な状況です。メッキ業界においても注目の動きにかかわらず、経営環境の変化への対応が求められます。近年、IoT（モノのインターネット）や人工知能（AI）、ロボットなどの技術の普及が加速しています。それは業分野を問わず、製品のみならず生産工程も変革を促すことが期待されています。例えば自動車業界では、電気自動車（EV）化による部品点数の減少が電気メッキの可能性を高めます。環境問題で規制が求められるなど、対応の負担が増えています。メッキは日本のモノづくり

### 技術向上へ研修会・講習会実施



2019年度の総会

つぎ技能士への輩出を目指す。環境に關しては「一めっきサイクル技術研究会」で、関連情報の収集や会議の回取、再資源化などの課題に取り組む。そのほか重点目標に産学連携による研究開発および新産業の開拓のほか、有能な人材確保・育成のための対応、技術向上のための研修会・講習会の実施などを挙げた。同組合の中で活発な活動を展開しているのが九州の若手グループ「九州の若手グループ」で、九州の全国的な活動の展開を期待する。同会が大きな活躍をみせたのが16年の熊本地震への対応だ。メンバーが活用していた会員制交流サイト（SNS）を地産地消支援に活用し、被災地に駆けつけた。会は独自の活動も実施している。本年度は共通課題をテーマにした勉強会や九州外での研修、他地域の若手同業者との交流などを計画する。



メッキ液の分析も品質を支える

ナノテックからロケット技術まで、モノづくりを支えるめっきのデパート  
田口電機工業株式会社  
TEL: 094-533-2211 FAX: 094-533-1353  
http://www.tanokuchi.co.jp/